

Muse



大音といえば
コレが名物!?

02 特集

**絶対大学で学びたい
邦楽&電子オルガン**

04 音楽と生きる

藤野 明子さん(字幕制作)
塩谷 恵理さん(タワレコード株式会社勤務)

声楽専攻

管楽器専攻

作曲専攻

ピアノ専攻

詳しくは
P13を
見てね

CONTENTS

08 PICK UP!
オペラ公演
「鬼娘恋首引」
「カーリ
ー・リ
ヴァー」

09 大音生リアル
練習時間(ダンス)編

10 NEWS Index
・Daion Report
・研究室訪問
・大音生なら必ず聴きたい「100曲」中村孝義
(音楽学・理事長)

13 キラリ★輝く
大音の星
・コンクール受賞
・NEW リリース

14 CAMPUS
Information

15 演奏会
Information
10月～12月

16 ・下手の考え
休むに似たり
～学長日記～
・教員ルーエッセイ
上塚 恵一
(チェロ・教授)

「ON-AR」

スマホで動画が見れる!?

で学びたい！

専門的に学ぶ——

専攻との豊富なコラボレーションの機会など、
「電子オルガン」を学ぶ学生による座談会をお届けします。

座談会 01

邦楽

◀左から原 菜里さん(大2)、橋本 桂子さん(大専)、饗庭 圭輔さん(大3)

音楽大学で学ぶからこそ 邦楽の魅力が分かる

——なぜ音楽大学で邦楽を学ぼうと？

饗庭 大音に入学する前に別の大学に通っていたのですが、その時にクラブ活動として初めて尺八に触れました。やればやるほどその魅力にますますはまってしまい、「もっと専門的に学んでみたい」と思ったので。

橋本 5歳の頃からお箏のレッスンに通っていましたが、高校生になって一旦やめてしまっていました。お箏から離れた生活をしていたのですが「やっぱり自分はお箏が好きなんだ」と気づいてレッスンを再開。それから邦楽だけでなく広い視野で改めて邦楽を学んでみたい、と思った時に音楽大学という選択をしました。

饗庭 僕も尺八を軸とするけど、伝統音楽はもちろん西洋音楽とかポップスにも興味がありました。音楽大学に入れば他専攻の学生たちが周りにたくさんいるので、それが魅力的でしたね。

原 うちはお親が邦楽の教師で、家の中ではいつもお箏の音が聞こえてくるような家庭環境でした。大音には付属音楽幼稚園、音楽院にピアノや歌のレッスンに通っており馴染みがありました。他にもさまざまな音楽を経験しましたが、でもやっぱり「邦楽

をやりたい」という気持ちが強くなり、大音の邦楽専攻受験を決意しました。——大学生活はいかがですか？

饗庭 受験準備が人より断然遅かったので、入学してから非常に苦労しました。特にソルフエージュや音楽理論は授業についていくのが大変。でも今となつてはこんなに専門的に勉強ができることは楽しく、嬉しいことです。

原 他専攻とコラボレーションする機会があり、これは音楽大学ならではのと思っています。他ジャンルに触れることによって改めて邦楽の良さを実感しています。

橋本 私は片岡リサ先生に出会って4年間、かけがえのない充実した時間を過ごしました。今は大学を卒業して大学専攻科で学んでいます。先生と学生もみんな仲が良く、居心地もいい。私にとっては宝物のような学生生活を送っています。

レッスン・授業を のぞいてみよう！



▲邦楽「箏」個人レッスン
(学生：橋本桂子さん、教員：片岡リサ講師)

邦楽演奏会

箏、尺八、三絃をさまざまに組み合わせを変えたアンサンブルと大人数の合奏で古典からモダンまでバリエーション豊かな曲目で演奏される邦楽演奏会。今年は11月28日(金) 18時よりミレニウムホールで行う。



教員よりメッセージ

世界へ発信する力

音楽大学ですからピアノやソルフエージュ、音楽理論修得も必須。邦楽で使う楽譜は五線譜ではありませんから、西洋音楽の技法で作曲されたものを学ぶことは邦楽を学ぶ上でも良い影響をもたらすのではないかと私は考えます。グローバル化が進む世の中であって邦楽は世界へ発信できる大きな魅力を持ったジャンル。私自身も卒業生として邦楽教育の歴史を持つ大阪音楽大学で学んで本当によかったと思っています。



片岡 リサ 講師

特集 「邦楽」「電子オルガン」 学生座談会

絶対大学

「邦楽」「電子オルガン」を大学でより深く、より基礎からじっくりと修得できるカリキュラム、他大阪音楽大学ならではの魅力について、「邦楽」

◀左から宮島 健太さん(大3)、濱 ちひろさん(短2)
山本 真央さん(大2)、有岡 雄一さん(短2)

座談会 02

電子オルガン

他専攻の学生との
交流ができるのは
音楽大学ならではの
魅力

——大学で電子オルガンを学んでみていかがですか？

有岡 クラシックはもちろん、ジャズ、ポピュラーなど他専攻の先生や学生が周りにたくさんいるところがいい。今まで聴いたことのないジャンルの音楽を聴く機会も増えました。

濱 先日初めて電子オルガンで声楽の伴奏をする機会をいただきました。電子オルガンで伴奏をすること自体これまででできたと思っていなかったし、これこそ音楽大学ならではの経験だと思っています。

山本 編曲の勉強がしっかりできることがいいなと思います。同じ専攻の学生も多いのでアンサンブルができるのも魅力的ですが、もっと発表の機会をつくりたいですね。

宮島 僕は今度、合唱とのアンサンブルをさせていただけることになりました。これは絶対に音楽大学だからこそできること。もともとピアノやトロンボーンもやっていましたし、ジャズにも興味があります。この大学にはジャズ専攻があるから専門の先生もいるし、授業をとることもできます。

スマートフォンを下の写真にかざすとレッスン・授業の様子を動画で見ることができます。アプリ(無料)をダウンロードしてさっそく見てみよう！詳しくはP13をご覧ください。



▲「電子オルガン・アンサンブル」
(教員：森本友紀講師)

本当はもっともつとやりたいことがあるのですが、時間がなくて……。

——将来のことは考えていますか？

有岡 大音では毎日たくさんさんの刺激があります。その中で最近、教職に興味を持ち始めました。来年度は大学に編入し、学校の音楽の先生を目指していきたいです。

濱 「音楽療法」の授業がとてもおもしろい！これまで電子オルガンを学んだ中で培った感性を生かして音楽療法士の道に進みたいと考えています。

山本 演奏活動も編曲の仕事もしながら音楽教室の先生になることが目標。そのために音楽大学で技術や知識を得たいと思っていましたので、今まで通り努力を続けます。

宮島 やりたいことがいっぱいあります……。(笑)。まだ具体的に決めていませんが、他専攻の学生との交流やジャンルを超えて学べるこの環境を思う存分使って、卒業まで思いきり勉強したいと思っています。

フライングライブ

電子オルガンコース・コンサート 「フライングライブ」

年に1度の集大成的なコンサート。今年度は2015年1月11日(日) 16時よりザ・カレッジ・オペラハウスにて行う。今年度は合唱と、来年度はダンスパフォーマンスとの共演を予定。



教員よりメッセージ

さまざまなジャンルに対応できる力を

既成楽譜は使わず、すべて学生自身が譜面を書けるよう指導しています。大学では、自作曲を到達点としています。音楽理論と演奏技術の両方を基礎からじっくりと学び、自ら編曲、作曲をできるようになることが目標。「電子オルガン」は歴史の浅い楽器ではありますが、その可能性は大きく、就職にも強い卒業生を多く送り出しています。講師や教員、音楽プロデューサーやオペレーターなど多方面で活躍中です。



森 宏 教授(左)
森本 友紀 講師(右)

字幕制作
藤野 明子

「偶然」と「好奇心」が
私を導いています

字幕制作の
変遷に関わってきた

字幕の作業は「テキストの翻訳」「字幕システムに合わせて編集」「本番での字幕操作」となります。まず楽譜を追いながらテキストを訳す。作曲家がいかに丁寧に言葉の意味やドラマの流れを表現しているかわかります。次に訳されたものをシステムに合わせた字数で区切り、音を聞きながらキュー楽譜を作る。そして演奏に合わせて「フェードイン、フェードアウト」の数値を決め、歌のように字幕が出るよう編集します。そうして出来上がったデータを、現場でシステムを通して演奏の「息」を読みながらLEDやプロジェクターで映写します。この「字幕制作」のお

仕事を35mmフィルムで作っていた時代から携わってきました。ネガフィルムを1枚ずつ枠にはめ、スライド映写機で映写していた最初の頃から、コンピュータソフトを使ってLED映写とプロジェクターでの映写による最新の方法までさまざまな変遷があります。現在、ザ・カレッツジ・オペラハウスに設置されているLED装置も、導入された当時は東京の業者が持ち込むしか方法がなかったため、莫大な費用がかかるし、操作もこちらはキュー出ししかさせてもらえませんでした。操作は業者が行うのでタイミングがずれたりしてとても不便を感じていました。「全部自分で操

作したい！」と思ったのをきっかけに、印刷関係の知識がある夫の協力やプログラミングができる弟に字幕ソフトを作ってもらうなどして、現在は一人で操作できる方法で、プロジェクターでの字幕映写を行っています。



●ふじの あきこ
1961年大阪音楽大学
音楽学部声楽専攻卒業。
90年頃からオペラな
ど舞台の字幕制作を始
める。現在、関西を代
表する字幕制作者とし
て活躍中。旧姓は「道
家(どうけ)明子」。



朝比奈隆先生のご指名で 演出助手に抜擢！

小さい頃、近所にピアノと歌を教
えてくれる先生がいて、習いに行っ
ていました。でもなまけものだった
私はレッスンもさぼりがち。それな
のに友人が「あっこ（私のこと）は声が
いいんだから歌をやめてはいけませ
ん」なんて言う。なんとかやめずに続
けているうちに「大学でも歌を勉強
したい」という気持ちが生えて、大
阪音楽大学に入るようになりました。
特に興味を持ったのはオペラです。

大阪音楽大学は、はじめ短大と高等
学校だけでしたが、大学ができ、私
はその3年目に入学しました。2年
生の頃、あの大指揮者、朝比奈隆先
生が学生によるオペラ公演「フィガ
ロの結婚」を計画されたのです。出演
者は1年上の学年（三室さん、先年退
職された上木さんがおられました）、
オーケストラも学生によるもので、
裏方スタッフを我々の学年が担当す
ることになりました。ちょうどその
頃、学園祭で芝居に出演していた私
を朝比奈先生が偶然ご覧になったよ
うで、演出助手のご指名を受けまし
た。それまではアリアを1曲歌った
くらいでオペラのすべてを知ってい
る気になっていましたが、それは大
きな間違いだと気づきました。演出

助手をするためには、作品を隅から
隅まで知り尽くしていなければなり
ません。オペラは知れば知るほど奥
が深いと気づくきっかけになったの
もこの時。「実はオペラは『裏方』の方
がおもしろいかも」なんて思い始め
ていました。

学生時代に字幕制作を ぜひ体験してください

「君たちは4年間も大学で勉強し
たのですからいつでもステージに立
てるような心構えでいなさい」。

もうすぐ卒業という頃、朝比奈先
生は私たちにこうおっしゃいました。
卒業後すぐの結婚・出産で音楽から
は少し遠ざかっていた時期にも、そ
の言葉はずっと私の心の中にあり
ました。その頃は関西二期会に所属
してはいたものの、時々合唱に参加
する程度。そんな私が本格的に活動
を始めたのはザ・カレッジ・オペラ
ハウスができた時。50歳になっていま
した。字幕を作ってみないか、と声
をかけていただいたのがきっかけで
した。演目は栗山昌良先生の「コジ
・ファン・トゥッテ」でしたが、その当
時はまだ日本語訳の歌詞で歌われる
時代で、原語での上演はようやく盛
んになり始めた頃でした。そのザ・カ
レッジ・オペラハウスの公演では、珍

しいことに同じ演出で「日本語によ
る歌唱」と「原語による歌唱」が2日
続きで公演され、その字幕を担当す
ることになりました。もちろん日本
語公演は字幕なし、原語上演には日
本語上演の言葉をそのまま字幕に
してほしいという依頼でした。とこ
ろがその作業を始めるとイタリア語
の歌詞とニュアンスが違うことに気
づきました。改めて日本語訳を検討
してみると、どうやら元のテキスト
はドイツ語のものを訳して歌詞にし
てあるようです。舞台ではイタリア
語で歌っているのに、これではまづ
いのでは、と考え「じゃあ私が」と引
き受けてしまった。ともかく家には
語学に強い夫と、近くにはイタリア
語のできる義弟がいるしと……。本
当に怖いもの知らずの自分に改めて
びつくりしてしまいます。

学生の皆さん！「字幕制作」のお
仕事に少しでも関わってみれば音楽
のすごさ、オペラのすごさ、人間の能
力のすごさが実感できます。特に作
曲や音楽学を専攻されている方々に
おすすめてです！大阪音楽大学には、
それができるチャンスと素晴らしい
環境が整っています。利用しない手は
ない！今回の取材も、それを皆さ
まに伝えたくてお受けした次第です。



▶ 藤野さんの楽譜。字幕を出すタイミングが数字やシールでマークされている

◀ 本番で操作中の藤野さん。パソコンと楽譜を前に緊張感あふれる時間



と 音楽 number 23 生きる

大音卒業生が語る
“音楽と生きる”人生

塩谷 恵理

タワーレコード株式会社勤務

「バイヤー」は責任重大 日々課題と向き合います

タワーレコードに勤務して今年で6年目。現在はクラシック売り場のバイヤーを任されていて、とても忙しい毎日を送っています。「バイヤー」はCDの入荷数を決める重要な役割。どのアーティストのCDをどのくらい仕入れるのか、は予約状況や過去の売上の実績、他店の情報などをもとに決定します。もちろんデータは参考になりますが、経験による勘が重要です。入荷が少なすぎて足りなくなってもお店にとってはリスクが生じてしまいますし、多すぎても在庫が増えてしまう。見極めは非常に難しいところです。仕入れるから「どのように展開して売っていくか」にはいつも頭をめぐらせています。お客さまの中には私より演奏者や作曲家について詳しい方もたくさんいらっしゃるので、会話しな

がら学ばせていただくことも多々あります。まだまだ勉強しなければならぬことが多く、少しでも役に立てるよう日々課題と向き合っています。

大音進学を許してくれた 母親には感謝

5歳の頃、自分から母親に「ピアノが習いたい」と言いました。母親は、自分もピアノをやったかったけれどそれがかなわなかった人なので、娘にはその希望をかなえてやりたい、と思ったのでしょう。念願のピアノ教室に通わせてもらえることになりました。それから中学入学と同時に吹奏楽部に入部。それまで熱心だったピアノのお稽古も少しさぼり気味になってしまいました。吹奏楽部では迷わずクラリネット。なぜかという小学生の時に見た雑誌にたまたま載っていたクラリネットに一目ぼ

れしてしまったからなのです。もともと体も小さかったので、軽い楽器がいいなと思っていたこともあって、もうそれからはクラリネット一筋。進学した高校は、吹奏楽部が全国大会へ出るような高いレベルの学校。その練習量たるやすごいものがありました。私自身もやるとなったらとことん極めたい性格。「もつとクラリネットを専門的に勉強したい!」という思いは募るばかり。将来は音楽大学への進学を自然に考えるようになっていました。我が家は母子家庭です。それまでもレッスン代やレッスンへの送り迎えなど散々母親には世話になってきたというのに「音楽大学へ進学したい」と切り出すのは申し訳ない気持ちもありました。でも母は「やりたいことがあるなら応援するから」と言ってくれて、大阪音楽大学へ進学させてもらえることに。母親には今でも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

大充実の大学生生活は 忙しすぎて覚えてない!?

在学中はレッスンに、授業に、朝晩かけもちのアルバイトに、と忙しすぎてもうほとんどなにも覚えてない(笑)。その忙しい中でも「ジュニア・カレッジコンサート」に出演した

●しおたに えり
2007年3月 大阪音楽大学短期大学部管楽器コース(クラリネット)卒業。2年間の小売店での勤務を経て09年タワーレコード株式会社入社。梅田大阪マルビル店にてクラシックを担当。



り、友人とアンサンブルを組んでコンサートに出演したことは良い思い出です。教職課程も履修していたし、あつという間に過ぎ去ってしまいましたが、本当に充実した2年間を過ごしました。これまで金銭面でも母親に迷惑をかけてきたし、お借りしている奨学金も返済しなければならぬ事情もあり、在学中は誰よりも早く就職活動を始めました。事情が事情だけにとにかくお給料が高いいことを条件として面接を受けていました。しかしそのうちにやはりお給料面だけでなく、仕事内容にもこだわらなくなつて、音楽関係の会社を受けるようになりました。それでも卒業間際まで就職が決まらず、先生の紹介でようやく決まったのが楽譜などを販売する仕事。2年ほど勤めたあと、ステップアップを目指して現在のタワーレコードに入社することができました。

私の経験から、やはりやりたいことを貫いたことがよかったと思っています。頑張ってきた分だけ評価していただいているし、責任の大きな仕事を任されてプレッシャーも感じています。音楽のほかに特に趣味と大言えるものもないので、音楽に囲まれていられるこの毎日を過ごせることが本当に幸せです。

音楽に囲まれていられる 毎日が幸せ

TOWER

RECORDS • VIDEO • BOOKS



◀ 尊敬するクラリネット奏者カール・ライスターのCDを手に



◀ 在学中の2006年11月に行われたジュニア・カレッジコンサートにクラリネット二重奏で出演 (左が塩谷さん)

▶ お客さま対応から在庫の整理、レジまでなんでも担当します





創立100周年記念プロジェクト 20世紀オペラ・シリーズ

茂山千之丞台本／鈴木英明作曲

W. プルーマー台本／B. プリテン作曲

おにむすめこいのくびびき

「鬼娘恋首引」 「カーリユー・リヴァー」

指揮者・演出家・作曲家3人が語る見どころ聴きどころ

独特の世界観を楽しんでください

指揮 山下 一史

「鬼娘恋首引」はストーリーもわかりやすく、まるでお芝居を観るように楽しんでもいただけたと思います。早い段階から鈴木英明先生に直接アドバイスをいただきながら稽古に励みました。作曲者がこんなに近くにいらっやあって、譜面に書ききれなかったことも直接伺えることに大変喜びを感じています。

「カーリユー・リヴァー」は、西洋音楽しか知らなかったプリテンが小節やリズムに捕らわれない「能」の世界に感銘を受けて書き上げた作品。もともと指揮者は想定されておらず、楽器も少ない編成で、オーケストラというよりはソリストの集まりというような形式。この独特の世界観を「オペラ」という枠組みでどこまで表現できるのか。ぜひお楽しみください。



対象的なキーワードを持つ2つの作品

演出 井原 広樹

今回取り上げられた喜劇と悲劇「鬼娘恋首引」は父親と娘、「カーリユー・リヴァー」は母親と息子という対照的な組み合わせが主人公に配られています。他にも「鏡板と教会」「大地と大河」「和と洋」「カラとモノクロ」そして「生と死」などのキーワードを材料に、作品づくりに取り組んでいます。これらの作品は写実的ではありませんが、我がが実生活で体感する笑いと哀しみの強いリアリティを提示、そしてカタルシスをもたらすことでしょ。三面を映像に囲まれた基本舞台はコンメーディア・デッラルテのようであり、能舞台のようでもあります。様式感と時代を超越した空間は、我々の想像力をより自由に開放してくれることでしょ。02年ブゾーニの「トゥーランドット」以来となる母校、ザ・カレッジ・オペラハウスでの演出の機会に感謝。



台本の録音を何度も聴いて音楽に

作曲 鈴木 英明

「鬼娘恋首引」は狂言がもたっているんですが、作曲にあたって最も苦労したのは狂言の独特な表現力に基づいた言葉の扱いです。もともと関西出身ではない私が、関西弁、しかも狂言の言葉にはほとんど馴染みがない上、お囃子を伴わないこの物語をどう音楽にしようか悩みました。そこで茂山千之丞氏に台本をすべて朗読していただき、それを録音して何度も反復傾聴し、身体に染み込ませてから作曲に取りかかりました。特に西洋風な拍子やリズムの扱いにとらわれることなく、狂言のイントネーションに忠実に、言葉の躍動感がスムーズに進行するよう意識しました。今回初めて井原さんの演出ということもあって、作曲家としてもとても期待しています。



「能」「狂言」をルーツにした2つの作品

この秋、大阪音楽大学創立100周年記念プロジェクトの4年目にお贈りするのには「能」「狂言」をルーツとした2演目です。狂言「首引」をもとに茂山千之丞氏が台本を執筆、本学の鈴木英明名誉教授が作曲した狂言オペラ「鬼娘恋首引」、そしてB・プリテンが能「隅田川」を観て感銘を受け、作曲した「カーリユー・リヴァー」。指揮はザ・カレッジ・オペラハウスに7年ぶりに登場の山下一史氏、演出はイタリアオペラを得意とする井原広樹氏を迎えてお届けします。

「鬼娘恋首引」あらすじ

鬼の山に迷い込んでしまった伊呂波句之助。人食い鬼に見つかり逃げられないと観念した句之助を、鬼は娘の番茶姫に「人間の食い初め」にと差し出した。まだ初々しい番茶姫は、句之助に心ひかれてゆく……。

キャスト



番茶姫
(川口 梨々)



伊呂波句之助
(中川 正崇)



素天童子
(田中 勉)

「カーリユー・リヴァー」あらすじ

1年前に姿を消した子どもを捜している狂女を船に乗せた渡し守は、かつて誘拐される道中、力尽きて息を引き取った少年のことを話し出す。やがてその少年は狂女の子であることがあきらかになり……。

キャスト



狂女
(西垣 俊朗)



渡し守
(榎 貴志)



旅人
(西村 圭市)



修道院長
(西尾 岳史)

Information

創立100周年記念プロジェクト
第51回オペラ公演
ザ・カレッジ・オペラハウス開館25周年記念
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
第51回定期演奏会 20世紀オペラ・シリーズ
鈴木英明作曲「鬼娘恋首引」
B.プリテン作曲「カーリユー・リヴァー」

●公演日

10月11日(土)17:00開演(16:00開場)
10月13日(月・祝)15:00開演(14:00開場)

●入場料

一般7200円、シルバー(65歳以上)6200円、
小・中・高校生3100円

●会場ザ・カレッジ・オペラハウス

指揮:山下 一史 演出:井原 広樹

制作統括:中村 孝義

●お申し込み・お問い合わせ

大阪音楽大学コンサート・センター

06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

オペラ・プレトーク

オペラ「鬼娘恋首引」「カーリユー・リヴァー」の見どころ、聴きどころ

●日時

2014年10月4日(土)14:00～15:00

●会場

ザ・カレッジ・オペラハウス 1Fロビー

●プレゼンター

山下 一史、井原 広樹

オペラハウス劇場ツアーを行います!

10月12日(日)13:00～(所用時間約30分)

集合場所:ザ・カレッジ・オペラハウス 1Fロビー

※10月11日または13日の公演チケットをお持ちの方に限ります

●お申し込み・お問い合わせは左記

「大阪音楽大学コンサート・センター」へ



K号館行きバス乗車

授業は2限目からですが、早めに行って自主練習をしています。練習仲間も集まってきて、励まし合っているうちに一緒にやっています。



ストレッチと復習

自主練習は主にストレッチと前回までの授業の復習。今日は夕方までずっとダンスの授業が続くので、体を慣らしておくためにも念入りに行います。



授業はいつも真剣そのもの

午前中は主にストレッチ、午後からは振付の授業です。北浜竜也先生は普段は優しくてもおもしろい先生ですが、授業は厳しくて真剣そのものです。



母の手作り弁当でランチ

授業のある時はだいたいダンス演習室横の控室で友人たちと一緒にランチ。母が毎日手作りしてくれるお弁当は色とりもきれいで食欲がわきます。



夕食はリラックス

母が毎日こだわって作ってくれる食事は、娘の私が言うのもなんですが本当においしい！ 一日の疲れが吹き飛びリラックスタイムです。



一日の締めはストレッチ

腕と腹筋と内腿を同時に鍛える筋トレを毎日10セットは必ず行います。今日も一日踊り続けたので、念入りのストレッチとマッサージは欠かせません。

大音生リアル ⑩

大音生のライフスタイルなどありのままを

ご紹介します。

練習時間
(ダンス) 編

子どもの頃から踊ることが大好きで「寝ても覚めてもダンスのことばかり」という伊藤さん。「もっとうまく踊りたい！」という一心で大阪音楽大学短期大学部ダンスパフォーマンス・コースで充実の毎日を送っています。ダンスのために食生活にも気を配っているという伊藤さんの一日を追いかけてみました。

ナビゲーター

短2・ダンスパフォーマンス・コース

伊藤 真璃亜さん



4

歳の頃、両親のすすめでクラシックバレエを始めてからずっとダンスひと筋。高校生の頃、部活動でジャズダンスの楽しさを知ってから、ジャズダンスを学べる大阪音楽大学短期大学部へ進学。ただがむしやらに踊っていた中高生の時とは違い、今は「この動きをするために一つ前のこの動きをどうすればいいか」と振付に関しても深く考えるようになりました。また食生活など生活そのものが随分変わったと思います。卒業後もさまざまな場所で踊り続けていきたい。だから今は生活すべてをダンスに捧げる日々です。

私のリアル

健康的な食生活で体力維持

北浜先生はダンスのことだけでなく、ダンスを踊るための身体づくりについてもアドバイスしてください。私もそれまではあまり気にすることがなかったのですが、健康や栄養面を考えた食生活について興味を持つようになりました。例えば朝食では主にビタミンをとるようにし、夕食ではタンパク質をメインに炭水化物は控えています。食事やお弁当作りは母にお願いしていますが、私自身も栄養面についての知識を持っておかなければと思っています。おかげでお菓子も食べなくなり、体重も入学以来4kg減りました。これからも食生活と運動で体力を維持し、健康な体で踊り続けていきたいです。



▲最近の朝食
ジュースとフルーツでビタミン補給



▲最近の夕食
健康を考えて作ってくれる母に感謝！

Column

入学前に体験しませんか？
ダンスパフォーマンス・コース
「オープンカレッジ」開催中！

ダンスパフォーマンス・コースの専門教育を入学前に体験することができる「オープンカレッジ」(年間全9回※第4回まですでに終了)を開催中。受講は1回のみでも可能で、受講料は無料です。「ジャズダンス」「モダンダンス」「バレエ」を通して、舞踊に必要な身体づくりや基本的な体の動きをはじめ、受講生一人ひとり、それぞれの進度に応じて段階的に高度な表現方法を学習します。未経験者も受講可能。10月19日の第5回目からすべて受講された方は2015年2月14日に実施される「ダンスパフォーマンス・コース発表会」に特別出演することができま。詳しくは大学HPの「受験生の方へ」をご覧ください。





イベント



お知らせ



大学

- 奨学金A** 釜場 美結(2年・演特ピアノ)、山本 真央(2年・電子オルガン)、野口 智未(3年・ピアノ)、井上 千尋(3年・演特ピアノ)、瀧本 晴香(4年・ピアノ)、池田 佑香(4年・演特ピアノ)
- 奨学金B** 上原 かなえ(2年・管楽器)、皆川 隼人(2年・弦楽器)、佐々木 美穂(3年・ピアノ)、川崎 沙優花、松山 美穂(以上3年・演特ピアノ)、宮崎 香織(3年・管楽器)、岡田 淳志(4年・声楽)、熊野 愛美(4年・ピアノ) 植田 絵梨(4年・管楽器)
- 奨学金C** 南 絢子(2年・ピアノ)、吉岡 眞由子(2年・管楽器)、原 茉里(2年・邦楽)、前川 典子、若杉 亮(以上3年・ピアノ)、與儀 千夏(3年・管楽器)、伊石 有里、高田 瞳、松井 彩奈(以上4年・ピアノ)、千葉 いつみ、西田 晴香(以上4年・演特ピアノ)、山口 真里奈(4年・管楽器)

短大

- 奨学金B** 豊城 百愛、堀之内 逸斗(以上2年・ピアノ)、糸川 茉里(2年・管楽器)
- 奨学金C** 長崎 弓華(2年・管楽器)、濱 ちひろ(2年・電子オルガン)

専攻科

岡本 優香(声楽)、野村 有理(ピアノ)以上大学、宮口 愛(短大・ピアノ)

大学院

藤田 麻緒(1年・管弦打)、田村 響(2年・ピアノ)、斉戸 英美子(2年・オペラ)、瀬崎紀子(2年・ピアノ)

6月12日(木)、2014年度大阪音楽大学奨学金制度給付奨学金の給付決定通知書授与式が行われました。この制

度は学生の皆さんの積極的な勉学を応援し、優れた学業成果を賞賛するものです。

奨学金制度 給付奨学金 給付決定通知授与式

2013年10月12日、14日の2日間にかけてザ・カレッジ・オペラハウスにて行われた第50回オペラ公演「ピーター・グライムズ」が「第22回三菱UFJ信託音楽賞」を受賞しました。この賞は1993年、「三菱UFJ信託芸術文化財団」設立5周年を機に創設されたもの。「三菱UFJ信託芸術文化財団」は、「三菱信託銀行(現 三菱UFJ信託銀行)」創立60周年を記念して、芸術や文化の発展・振興を目的に、1987年に設立されました。



▲昨年行われた「ピーター・グライムズ」より

第22回三菱UFJ信託音楽賞 オペラ公演「ピーター・グライムズ」が受賞

アドルフ・サックス生誕200年を記念して、音楽博物館第77回ミュージアム・コンサートを10月29日(水)18時よりミレニアムホールで行います。A・サックス製作のオリジナル楽器5点を使用、またサクソフォーンの変遷と魅力を客員教授のクロード・ドゥラング氏が語ります。伴奏に用いるのは卒業生より寄贈されたパリのエラル社製ピアノ(1911年製作)。入場



▲音楽博物館所有のサクソフォーン



▲パリ・エラル社製ピアノ

料は1000円。お申し込みは大阪音楽大学コンサート・センター(06-6334-2242)または大阪音楽大学HPをご覧ください。

「サクソフォーン」と「エラルピアノ」 フランスの音色を届けるコンサートを開催

7月11日(金)西本智実客員教授が特別講義を行いました。「第九交響曲、ベーレンライター版使用の意義とその解釈」と題し、来年予定されている「創立100周年記念特別演奏会」で指揮する西本客員教授がその準備の一環として行ったもの。休憩を挟みながら約4時間、第1、2、4楽章の指導が続きました。

「皆さんとても集中して臨んでくれました。最初の頃より音も随分変わってきています。来年の本番では皆で協力し、ぜひ素晴らしい演奏会にしましょう(西本智実)。」



▲ザ・カレッジ・オペラハウスで行われた特別講義の様子

創立100周年記念演奏会に向けて 西本智実客員教授が特別講義

6月10日(火)、ミレニアムホールにてオペラ物知り講座番外編オペラと能を行いました。中村敬一客員教授のナビゲーションのもと、西洋の総合芸術である「オペラ」と日本の伝統芸術である「能」の共通点や違いなどを写真や映像とともに解説。ゲストには能楽師でシテ方観世流の大槻文蔵さん、17歳の若き能楽師である大槻裕一さん、そ

して小鼓方辛流の成田達志さん。普段はなかなか見ることができない稽古風景の再現や、お客さまと一緒に実際の「謡(うたい)」を体験するコーナーなど初めて能を見る方にも興味深い充実の内容となりました。



▲右はゲストの大槻文蔵さん、左はナビゲーターの中村敬一客員教授

西洋と日本の総合芸術を堪能 「オペラと能」を開催



◀ホワイトボードには「演奏のモットー」が大きく書かれている



▲さまざまな打楽器が保管されている



プレゼントされたミツキグッズをきっかけに多数所有



◀「DAI-ON ミュージカル」勉強会の様子



「DAI-ONミュージカル研究会」設立

より高い技能を備えた俳優を育てる

4月1日(火)「DAI-ONミュージカル研究会」が設立されました。これは将来、大阪発信のミュージカル作品の上演を想定し、その中心メンバーとなる俳優の育成を目的としたもので、大阪音楽大学短期大学部専攻科の卒業生を中心にした外部団体です。代表を羽鳥三実広教授が務め、本学教員らが指導に当たります。現在は週1回、本学にて勉強会を開いています。より高い技能を備えた俳優を

育てることが会の目的であるため、入会資格は本学卒業生に限りませんが「歌唱」「舞踊」「演技」のうち2技能以上に秀でていることが条件。書類およびオーディションによって審査されます。応募は随時必要に応じて行います。募集要項は本学HPの「DAI-ONミュージカル研究会」のサイトからダウンロードしてください。お問い合わせはメールアドレス musical@daion.ac.jpまで。

研究室訪問

普段はなかなか入ることのできない先生の研究室におじゃましてー！

今回お訪ねしたのは……

北野 徹 教授

(担当科目：打楽器実技、ウインドアンサンブル、吹奏楽、専門合奏、室内楽) O号館106号室

「音楽をする人」は「人の心がわかる人」でいてほしい

大学と専攻科を卒業してから非常勤で数年、その後専任教員として現在まで合計40数年、ずっと大音に通い続けています。この研究室はレッスン室としてはもちろん、打楽器の保管室も担っているのがかなり広い。もう10年以上は使わせていただいています。大音の打楽器の保有数は関西随一でしょう。年1回行っている「打楽器オーケストラ」を見て感激し、「私も打楽器オーケストラがやりたい!」と大音を希望して入学してくれる学生が毎年います。打楽器だけの音楽を経験している人は少ないでしょう。大音ならではの楽器と設備の充実度だと自負しています。

音楽は演奏技術だけで成り立つものではありません。「ボランティア」の精神が必要。「どのように演奏したらお客さんに喜んでいただけるか」を考えるのは

もちろんのこと、アンサンブルでは他人との協力が必要です。「自分が何をしたら他のプレーヤーに喜んでもらえるか」を常に考えながら演奏しなければなりません。そのあたりは社会生活と同じなのです。「自分のために何をしてくれるか」という自分本位の考えではなく「自分が何をしてあげられるのか」を常に考える。それができない人は、音楽で人を感動させることなんてできないと思います。人をいたわる気持ちを持ち、人の心がわかる人間に育ってほしい。そう思いながら教員を続けています。しかし時代の流れでしょうか、最近ではきつい注意もしくなりました。でも学生たちが卒業後、「北野先生がうるさく言ってたな」と少しでも思い出してくれればいい。たとえ嫌われても(笑)私は言い続けていきたいと思っています。

Daion Report

~海外見聞録~

学生が見た! 聞いた! 海外体験をお送りします。

高崎 真央さん(院2・ヴァイオリン)

人生の「ターニングポイント」となったドイツ留学

Folkwang芸術大学は、とても自然豊かな街にあります。そこで留学期間中、「ヴァイオリンのレッスン」「室内楽」「オーケストラ」「音楽理論」「バロックヴァイオリンのレッスン」と「バロック演奏法の講義」を受講しました。講義は学生たちの非常に積極的な発言と受講態度が印象的でしたが、ドイツでそれはごく普通の光景。自主性と個性が尊重され、各々が自由と自己責任において学習します。つまり受け身では放っておかれますが、常に「積極的に勉強しよう」とするほど、そこは非常に有益な環境です。



▲隣町のドルトムントで開かれたクリスマスマーケットの様子

私の師事していたクリムキューヴィツ教授は、レッスンで私が弾いたように



◀ Folkwang芸術大学のある美しい街「エッセン・ヴェルデン」

▶ お世話になったクリムキューヴィツ教授と



真似をして「君はこう弾きたいの?」とよく尋ねました。それは、自分ではそのつもりがないのに「音楽的でないフレーズやヴィブラート」といった具合にいつも滑稽に聞こえてしまいます。レッスンではこのように「自分が出している音を客観的に聴く」「やりたい音楽を持つ」という自分の課題と向き合いました。そして「自分の解釈と表現を伝えるために技術がある」という当たり前のことはとても難しいことだと改めて実感しました。

何よりこの留学期間は、自分と向き合い、多くの人と出会い、それがきっかけで私の人生の中で最も重要なターニングポイントとなりました。初めてのことは不安だらけで何もわからなくて怖い。けれど挑戦によって得るものはあっても、失うものはないと学びました。

豊中・南地域安全大会主催、大阪府豊中警察署が6月22日(日)に豊南小学校にて行われ、小椋寛子さん(大4・ピアノ)が一日署長を務めました。防犯DVDの上演、生活安全指導班より防犯指導のあと、小椋さんによるピアノコンサートを開催。「幻想即興曲」「花は咲く」「LET IT GO」の3曲を披露しました。「ピアノを弾かせていただいた時は皆さんが耳を傾けてくださった、嬉しかった



▲参加した子どもたち



▲ピアノコンサートではたくさんのお客さまが聴き入りました



豊中・南地域安全大会 小椋寛子さんがピアノコンサート

です。たくさんの方と温かい交流ができました(小椋寛子)。



音楽性の深さ、高貴さを集約した作品たち

モーツァルトはわずか35年の生涯(1756～1791)ながら、600以上もの作品を残しており、それらがおしなべて魅力的な作品ですので、この欄では到底収めきれずはできません。今回はあと2つの分野からいくつかの作品をご紹介します。ことにしましょう。

まず1つ目は交響曲です。交響曲は当時の作曲家にとって、いわば名刺代わりとなる重要な分野でしたので、モーツァルトも40曲以上の作品を残しています。あの映画「アマデウス」のタイトルバックに流れたことから一躍有名となった第25番ト短調(小ト短調)以降の作品はどれも名曲ですが、ここでは後期の4曲を挙げておきましょう。1788年夏に、わずか6週間ほどで作られたといわれる3大交響曲(第39、40、41番)は絶対に聴き逃すことのできない名曲ですが、その前の「ブラハ」と名付けられた、やや変則的な3つの楽章か

らなる第38番もぜひ聴いてみてください。いずれもモーツァルト後期の音楽性の深さ、高貴さを集約した見事な傑作です。これはぜひピリオド楽器による演奏で。

もう一つのジャンルは、これを聴かなければモーツァルトの「イロハ」がわからないと言っても過言ではないオペラです。人間をこよなく愛したモーツァルトにとって、その実態を余すところなく表現しえたオペラは、まさに彼の真骨頂を示す最高の武器だったのです。それゆえこのジャンルにも多くの傑作を残しています。スザンナを中心に、人間の愛の諸相が機知豊かに描かれた「フィガロの結婚」、放蕩人といういわば社会のアウトサイダーを素材に、愛の究極を追究した「ドン・ジョヴァンニ」、女性の操を確かめるといってとんでもないテーマから、むしろ男性のいい加減さをコケにしているともとれる「コジ・ファン・トゥッテ」、おとぎ話風のス

今回の推薦曲

- 26 交響曲第38番 ベーム[◎:CDC15-Ⅳ]
- 27 交響曲第39番 ベーム[◎:CDC15-Ⅳ]、
アーノンクール[◎:CD94-58]
- 28 交響曲第40番 ブリュッヘン[◎:CD12-32]、
アーノンクール[◎:CD94-59]
- 29 交響曲第41番 ブリュッヘン[◎:CD12-33]、
ベーム[◎:CDC15-Ⅳ]
- 30 フィガロの結婚 ジュリーニ[◎:CDD49-Ⅱ]、
エーリッヒ・クライバー[◎:CDQ8-Ⅲ]
- 31 ドン・ジョヴァンニ カラヤン[◎:CDA41-Ⅱ]、
ジュリーニ[◎:CDA57-Ⅲ]
- 32 コジ・ファン・トゥッテ ベーム[◎:CDF54-Ⅱ]、
ヤコブス[◎:CDL52-Ⅰ]
- 33 魔笛 ベーム[◎:CDB32-Ⅲ]、
クレンペラー[◎:CDN57-Ⅲ]

※ ◎は図書館請求番号を表しています

トリーを題材にしながら、高貴な愛からやるせない愛まで、やはり愛の諸相を真実味豊かに描いた「魔笛」まで、やはり後期4大オペラは外せません。

使われなくなった中古楽器を集めて子どもたちに贈りたい——豊中南ロータリークラブと大阪音楽大学が協力して「子どもに夢と感動をプロジェクト」を設立。このたびトランペット2本、フルート、クラリネット各1本の計4本を豊中市教育委員会へ寄贈しました。その贈呈式が大阪音楽大学で行われ、豊中南ロータリークラブの水野茂会長から豊中市の大源文造教育長に手渡しました。水野会長の「まだまだ数は少ないですがぜひ活用してほしい」との言葉に「いただいた楽器を有効に活用したい。子どもたちには音楽を通じて『生きる喜び』を感じてほしい」と大源教育



▲左より本田耕一副理事長、
水野茂豊中南ロータリークラブ会長、
大源文造豊中市教育長



▶今回寄贈された楽器

「子どもに夢と感動をプロジェクト」 楽器贈呈式

長。楽器のメンテナンスを担当した大阪音楽大学の本田耕一副理事長は、「このプロジェクトはまだ始まったばかり。これからも継続して支援していきたい」と挨拶しました。

大阪音楽大学の創立者、永井幸次の生誕140周年を記念した特別展が鳥取市のわらべ館にて5月22日(木)～6月15日(日)まで行われました。会場のエントランスホールには写真や生い立ちを記したパネル、直筆楽譜、自伝「来し方八十年」の自筆原稿や「五一じいさん」「ささ舟」など永井の代表曲を自由にヘッドフォンで聴ける装置などを展示。卒業生や地元のお客さままでにぎわいました。永井から直接指導を受けた世代の卒業生が来館した際は「永井先生の姿、なつかしい」という言葉も聞かれました。期間中は卒業生の田中久美子さん、田中美也子さん姉妹が永井幸次作曲作品を歌うコンサートを行った

ほか、卒業生で鳥取在住のソプラノ歌手、寺内智子さんが出演する「永井幸次音楽朗読劇とミニコンサート」も開催。改めて「西日本に音楽学校を作りたい」と大阪音楽大学を創立した永井幸次の強い意志が伝わる特別展となりました。



上:音楽朗読劇で歌う寺内さん
左上:わらべ館外観
左下:永井幸次記念特別展の展示の様子



鳥取・わらべ館 永井幸次の生誕140周年記念特別展を開催

祝! コンクール受賞

各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介します

第30回愛知ピアノコンクール

連弾自由曲C部門 金賞、中日新聞社賞、リリオ賞

2014年4月29日(知立リリオ・コンサートホール)

この度、目指してきた「金賞」を受賞することができ、大変嬉しく思っています。この受賞をさるなる成長の糧として努力し、ピアノデュオの魅力を一人でも多くの方に伝えていきたいと思ひます。



桃谷 江美 奥出 容子
(04年大卒・ピアノ) (03年短専修・ピアノ)

ピアノデュオを結成して5周年という節目の年に結果を残すことができ、とても嬉しく思ひます。これから「合わせる」ということだけにとらわれず、私たちにしか出せない表現や音色を追求していきたいです。

第22回山陰ギターコンクール

プロフェッショナル部門第1位、島根県知事賞

2014年5月4日(松江市総合文化センタープラハホール)

このような賞を受賞することができ、大変嬉しく思ひます。1位をいただいたのは先生方や家族、たくさんの方々の支えがあったからです。これからも支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、日々努力していきたいと思ひます。



山口 莉奈
(大2クラシックギター)

NEWリリース 大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜などをご紹介します



青柳 いづみこ(教授)
ピアニストたちの祝祭
唯一無二の時間を求めて
1850円(税抜)
中央公論新社
全国の書店、amazon 他

国内の音楽祭や内外の有名ピアニストの公演レポートをまとめた書。ラ・フォル・ジュルネ音楽祭では、自ら出演した体験を書いている。また、サイトウキネン音楽祭では、大西順子氏が小澤征爾と共演したガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」取材。女性作曲家音楽祭やアルカン生誕200年記念コンサートでは、本学の岸本雅美講師も登場する。



石井 彰(特任教授)
Endless Flow
3000円(税抜)
全国のCDショップおよびamazon 他

自分のトリオとしての前作「Embrace」をリリースしてから10年。そろそろ世に発表できる作品ができるのではと思ひ立ち、それから1年半の製作期間を経て自分でも満足のいく作品が出来上がりました。今、自分の中で流れている「自由でシンプルかつ深い音」をぜひお聴きください。



平山 るみ 共著(准教授)
科学技術をよく考える
クリティカルシンキング練習帳
2800円(税抜)
名古屋大学出版会
全国の書店、amazon 他

遺 伝子組換え作物、乳がん検診、地震予測……現代社会に生きる上で必要不可欠な科学技術と、私たちはどう向き合えばよいのか。科学技術のトピックを通じて、どの分野でも必須となる自分の頭で考えぬく力、クリティカルシンキングを身につける、全く新しいスタイルの「練習帳」です。

「ON-AR」でMuseオリジナル動画を見よう!



大学院のピアノ、歌曲、オペラの発表会を大公開!
さっそくスマホでのぞいてみませんか?

今号は次の5つの動画を見てみよう!

- 邦楽「箏」個人レッスン(学生:橋本桂子さん、教員:片岡リサ講師)P2参照
- 授業「電子オルガン・アンサンブル」(教員:森本友紀講師)P3参照
- 「Muse de Concert」「大学院2年ピアノ研究発表会」(MH)6/24(火)
- 「Muse de Concert」「大学院歌曲研究室前期発表会」(MH)7/1(火)
- 「Muse de Concert」「大学院オペラ研究室試演会」(OH)7/24(木)

スマートフォンで「ON-AR」の付いた写真にかざすと動画を見ることが出来ます。

アプリ(無料)をダウンロードして今月は左の5つの動画を見てみよう!

まずはアプリ(無料)をダウンロード!



▲大学院2年ピアノ研究発表会



▲大学院歌曲研究室前期発表会



▲大学院オペラ研究室試演会

学内の各部門・施設から、役立つ情報をお届けします。

キャリア支援センター

音楽教室講師を目指す方へ

「ヤマハ音楽指導グレード5級取得準備講座」を秋から冬にかけて開催します。音楽教室講師を目指す方はぜひご参加ください。

開催日:10/28、11/4、11、18、25、12/2、9、16、23(全9回)

受講料:在学生10000円、卒業生13000円

時間:17:00～19:00(12/23のみ13:30～15:30)

場所:B205教室

持ち物:五線ノート、筆記具、楽典のテキスト(第1、2回のみ)

詳しくはキャリア支援センターまで

TEL:06-6334-2251 career1@daion.ac.jp



▲講師の澤田博先生

学生支援センター

外国語の検定試験による単位認定

英検やTOEIC、TOEFL、独検、仏検の検定試験で所定の成績を修めた場合、必修の外国語1カ国語に限り本学での外国語科目として単位を認定しています。成績により認定される単位数も変わります。(上限は大学8単位、短大4単位)。詳しくは「履修ガイド2014」の「検定試験による単位認定」をご覧ください。お申込み、お問い合わせは学生支援センターまでお越しください。



▲履修ガイド2014

入試センター

キャンパスツアーで「大音生」体験しませんか？

在学生や卒業生が皆さまをご案内する「キャンパスツアー」を実施しています。施設見学や授業見学、個別相談など大阪音楽大学をリアルに感じられる1日を過ごしていただけること間違いなし！ご希望の方には有料で実技レッスンを受講していただくことも可能です。開催日程など詳しくは大学HPの「トップページ」→「START!大音」→「体験レッスン&キャンパスツアー」をご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしております。



▲キャンパスツアーでは施設のウラ側にも潜入！

連携支援センター

誰でもわかる！楽しくわかる！音楽講座実施中♪

オペラ物知り講座(構成・お話し:中村 敬一)

第10期 第3回 11月4日(火)18:30～

歌 心の叫び

オペラ歌手は何でも歌いませえ

演奏:小餅谷 哲男(Ten.)、佐藤 明子(Pf.)



ミレニアムホール特別講座 ～レクチャー・コンサート～ (プロデュース・司会:日下部 吉彦)

第57回 12月6日(土) 14:00～

打楽器は楽器の「原点」みんなで「ふるさと帰り」をしよう

「一つの太鼓から音楽が始まった。大規模化する音楽から余計なものを削ぎ落としてやってみよう」

演奏:北野 徹(打楽器)、

パーカッショングループ大阪

(中村 成範、尾和 宏樹、宮原 和男、光本 諭史)

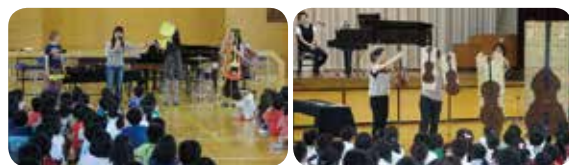


お申し込み・お問い合わせ▶大阪音楽大学 連携支援センター TEL 06-6334-2249

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

「文化芸術による子供の育成事業」に ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団が参加

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇などの巡回公演を行う「文化芸術による子供の育成事業」。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団は毎年この事業に参加、その「巡回公演」が今年も7月より始まり、現在までに13校でワークショップを行ってきました。前半はオーケストラのメンバーからの楽器の紹介や指揮者体験、後半はプロのオペラ歌手による歌唱指導。最後にオーケストラの楽器と一緒に合唱。盛りだくさんの内容に子どもたちは熱心な様子で参加してくれました。9月25日からは本公演がスタートします。



▲小学校でのワークショップの様子。持ち込めない楽器はメンバー手作りの「クラフト楽器」で紹介

付属音楽幼稚園

園児募集を開始します

10月1日(水)午前8時～11時に2015年度の園児を募集します。3歳児(2011年4月2日～2012年4月1日生まれ)は105名、4歳児(2010年4月2日～2011年4月1日生まれ)は4名の募集です。面接は同日10月1日(水)13時より行います。詳しくは音楽幼稚園HPをご覧ください。



園HPをご覧ください。

<http://daion.ac.jp/about/kindergarten>

9月19日(金)13:30～説明会を行います。ご予約は不要です。

付属音楽院

「音楽院コンサート」開催します

皆さまへの日頃の感謝を込めて「音楽院コンサート2014」を10月19日(日)に開催いたします。歌、ピアノ、弦楽、金管など盛りだくさんのプログラムを、「ザ・カレッジ・オペラハウス」にてお楽しみください。この日のために作曲されたオリジナル・ファンファーレも演奏されます♪入場券・整理券のお問い合わせはA号館3階、音楽院事務室まで。Tel:06-6334-2909 ongakuin-support@daion.ac.jp

▼2013年度音楽院
コンサートの様子



大阪音楽大学主催公演

第5回ミレニアムピアノコンサート

10/9(木)17:15 ~

●木村 直美、小川 裕子、油井 美加子 ●MH ●無料

創立100周年記念プロジェクト

第51回オペラ公演 20世紀オペラ・シリーズ

「鬼娘恋首引」[カーリュー・リヴァー]

10/11(土)17:00 ~

10/13(月・祝)15:00 ~

●指揮:山下 一史、演出:井原 広樹、(鬼娘恋首引)番茶
姫:川口 りな、伊呂波句之助:中川 正崇、秦天童子:
田中 勉 他 (カーリュー・リヴァー)狂女:西垣 俊朗、
渡し守:樹 貴志、旅人:西村 圭市 他 ●OH
●一般7200円、シルバー 6200円、
小・中・高校生3100円

第42回 ミレニアム・スチューデント・コンサート

10/16(木)、17(金)、20(月)18:00 ~

●選抜学生 ●MH ●無料(要整理券)

大阪音楽大学 音楽博物館第77回ミュージアム・コンサート

サクソフォーン創案者

アドルフ・サククス生誕200年 記念コンサート

国立バリ高等音楽院教授

クロード・ドゥラング氏を迎えて

10/29(水)18:00 ~ ●MH ●1000円

大阪音楽大学大学院定期演奏会 2014

11/4(火)18:00 ~ ●OH ●1000円

●大阪音楽大学大学院生による演奏会

第43回 ミレニアム・スチューデント・コンサート

11/6(木)、7(金)、10(月)18:00 ~

●選抜学生 ●MH ●無料(要整理券)

第6回ミレニアムピアノコンサート

11/11(火)17:15 ~

●岡部 佐恵子、北川 恵美、大竹 道哉 ●MH ●無料

第26回 ザ・コンチェルト・コンサート

11/13(木)18:00 ~

●選抜学生による協奏曲演奏会 ●OH ●1000円

第25回 ザ・カレッジ・コンサート

11/17(月)18:00 ~

●選抜学生によるジョイント・リサイタル

●MH ●1000円

第37回 邦楽演奏会

11/28(金)18:00 ~

●邦楽専攻生、邦楽コース在学、邦楽担当教員

●MH ●1000円

創立100周年記念プロジェクト

大阪音楽大学 第57回 定期演奏会

12/5(金)19:00 ~ ●ザ・シンフォニーホール

●1000円 ●大阪音楽大学管弦楽団

第7回ミレニアムピアノコンサート

12/11(木)17:15 ~

●永井 正幸、西本 由香、星賀 規子 ●MH ●無料

お問い合わせ

大阪音楽大学コンサート・センター

TEL:06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

学生自主演奏会

ミュージカル「Phantom」

11/29(土)17:30 ~

●外川 大樹、平木 萌子、日野 大輝、加護 翔太、宮原 萌子 他

●MH ●無料

※ mukiguri.maron@gmail.com(飯塚)

Message 世界的に有名な、悲しくも美しいミュージカル「オペラ座の怪人」のもう一つの作品を、声楽専攻の学生を中心に上演いたします。総勢40人の新しいファントムの世界をお楽しみください。皆さまのお越しを、一同心よりお待ちしております。

第25回大阪音楽大学クラリネットオーケストラ演奏会

12/16(火)19:00 ~

●大阪音楽大学クラリネット専攻生

●いずみホール ●1000円

●clarinetorchestraosaka@yahoo.co.jp(林)

Message 「専門奏」を受講するクラリネット専攻生約50名による演奏会です。関西圏では類を見ない大規模なアンサンブル。今年で25回目を迎えます。出演者一同心を一つにして演奏いたします。ぜひご来場ください。

大阪音楽大学後援演奏会

富樫 三起子ピアノリサイタル

10/2(木)19:00 ~

●ザ・フェニックスホール ●3500円(当日4000円)

●06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

ピノリヴォーカルコンサート

10/15(水)18:30 ~

●みづなホール ●松田 昌恵、関口 康祐 他卒業生

●2000円 ●090-6670-2418(北野)

増井 一友ギターコンサート Vol.13

10/22(水)19:00 ~ ●甲東ホール ●1000円

●050-3497-0294(夙川ギター倶楽部)

青井 彰 ピアノリサイタル 10/23(木)18:30 ~

●兵庫県立芸術文化センター小ホール ●3000円

●0120-961-891(JSO コンサート企画)

関西オーケストラプロジェクト2014

11/1(土)15:00 ~

●指揮:秋山 和慶、関西フィルハーモニー管弦楽団

●いずみホール ●5000円

●06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

第5回深木新作音楽展 11/1(土)、2(日)16:00 ~

●作曲:大澤 弘之、岡田 正昭、梶山 拓也、熊谷 美紀、

高 昌帥、駒井 肇、中澤 道子、八田 京子、森本 友紀

●茨木市市民総合センター

●一般2500円、学生1500円 ●090-3914-3560(駒井)

スーパーリコーダーカルテットリサイタル Vol.8

11/2(日)19:00 ~

●北山 隆、北村 正彦、松浦 孝成、村田 佳生

●甲東ホール

●一般3500円(当日4000円)、学生1500円

●06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

鳥居 知行 ピアノリサイタル

(ショパンエチュードの夕べ)

11/7(金)19:00 ~

●いずみホール ●一般3500円(当日4000円)、学生

1500円 ●06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

第37回おもしろ音楽博物館

11/9(日)14:00 ~

●大阪大学OB男声合唱団、大阪外国語大学OB男声

合唱団、指揮:林 誠、ピアノ:柿原 宗雅

●ビブレホール

●一般1000円(当日1500円)、中学生以下無料

●078-579-2311(長田区まちづくり課)

友情のサビーナ・オーケストラ&ウィンド アンサンブル マスタークラス

11/15(土)~20(日)(木)

●ヴィニー・チョ・アレグリーニ、アンドレ・アンリ、
サビーナ・アレグリーニ、エンツォ・トゥリツィアーニ

●池田市民文化会館アゼリアホール(大ホール)他

●25000円

●06-6844-8787(友情のサビーナ・オーケストラ事務局)

土井緑ピアノリサイタル ~近現代・音の光彩~

11/19(水)19:00 ~

●ザ・フェニックスホール ●3000円(当日3500円)

●06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

4 BIG PLAYERS & 友情のサビーナ・オーケストラ コンサート

11/21(金)19:00 ~

●ヴィニー・チョ・アレグリーニ、アンドレ・アンリ、

サビーナ・アレグリーニ、エンツォ・トゥリツィアーニ、

友情のサビーナ・オーケストラ、サビーナ・ウィンドアン

サンブル、サビーナ・プラスアンサンブル

●ザ・シンフォニーホール ●S席5000円、

A席4000円、B席3000円(当日各500円増)

●06-6844-8787(友情のサビーナ・オーケストラ事務局)

藤井 快哉 ピアノリサイタル

11/26(水)19:00 ~

●ザ・フェニックスホール ●一般3000円、学生2000円

●0797-23-5996(KONTA Inc.)

大阪ゲヴァントハウス合唱団 第22回定期演奏会

12/7(日)14:30 ~

●指揮:本山 秀毅、管弦楽:大阪チェンバーオーケストラ 他

●いずみホール ●S席5000円、A席4000円

●06-6353-9309(大阪ゲヴァントハウス合唱団)

華麗なるダンスの宴

~バロックダンス&ポーランドダンスの魅力~

12/8(月)19:00 ~

●大阪府中央公会堂中集室

●S席5000円(指定席)、A席3500円(自由席)

●080-6214-2517(コートダンス・アンサンブル)

田中 紀子 ピアノリサイタル 12/9(火)19:00 ~

●兵庫県立芸術文化センター小ホール

●一般3000円、学生2000円

●06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

芹澤 佳司ピアノリサイタル 作曲家シリーズ Vol.8

F.ショパン 12/10(水)19:00 ~

●兵庫県立芸術文化センター小ホール ●3000円

●0797-84-5952(ラプトサウンド)

幸楽会後援演奏会

ドイツと日本の声楽作品によるドラマの夕べ

「ある男の運命と愛の物語」

10/8(水)19:00 ~ ●ザ・フェニックスホール

●06-6363-7999(ザ・フェニックスホールチケットセンター)

10/12(日)14:00 ~ ●芦屋アマックホール

●080-6188-4914(日本・スイス音楽 家交流協会)

●ニラウス・コスト、加藤 哲子、田中 郷子、ワルター・ギーガー

●一般3500円、学生2500円

安則雄馬門下生によるヴォーカルコンサートⅢ

10/11(土)14:00 ~

●サンクスエアホール ●1000円

●090-8163-6630(安則門下コンサート準備室)

伊東佳美ピアノリサイタル 11/8(土)18:00 ~

●カワイ梅田コンサートサロン「Jouer」

●3000円(当日3500円)

●06-6345-8300(カワイ梅田)

STEP TO THE FUTURE 中嶋和子 輝きの明日へ

11/15(土)14:00 ~

●アムゼン・クリスタルホール ●2500円

●04-7174-6864(阿久根)

編集後記

次号は12月15日発行予定です

今年は大阪音楽大学創立者、永井幸次先生の生誕140周年。出身地の鳥取へ赴き「わらべ館」での記念特別展を訪ねました。永井先生の数々の足跡に触れ、また音楽が大好きな少年・永井幸次がかつて通ったであろう鳥取県庁界隈の道を歩きながら、音楽大学設立にかけた情熱に思いをはせた鳥取の旅でした。(は)

最新情報を配信中!

こちらのSNS配信サービスからも
大音情報をチェックできます。



@ocm_t

@daion

iTunes

App Store

Google

play

学校法人 大阪音楽大学広報誌『Muse』

vol.231 2014年9月16日発行

●発行:学校法人 大阪音楽大学 〒561-8555

豊中市庄内幸町1-18 TEL:06-6334-2904

FAX:06-6334-2141 <http://daion.ac.jp>

●制作・編集:広報室 muse@daion.ac.jp

●デザイン協力:(株)産業編集センター

「閃き」はinspiration、「汗」はここではsweatではなくperspirationです

「天才は1%の閃きと99%の汗である」というのは発明王エジソンの言葉ですが、その真意は努力の大切さではなく、1%のインスピレーションの方です。努力はその気になれば誰にでもできますが、インスピレーションは学ぶこともできません。コントロールすることもできません。そして始末の悪いことに、各専門領域にはそれぞれのしきたりというか、固定観念のようなものがあって、そこにはまり込むと自由な発想を阻害してしまいます。ですから、100%の汗(努力)はかえってのはた迷惑になりかねません。まあ、何を努力というかは人によって違いますが。

世の中、未来永劫に変わらないものなんてありません。あらゆるものが日々変化します。その変化にどれだけ自覚的でありうるかが大切で、何かを成し遂げるためには過去の蓄積を一度捨てないといけない場合もあります。過去を振り返って、これだけ頑張ったのだから、と執着するとコンコルド・シンドロームに陥ってしまいます(「コンコルド」とは英仏共同開発の超音速ジェット旅客機で、何とか実用化までこぎつけたものの問題山積で量産は16機で打ち切られてしまいました。

た。莫大な開発費をつぎ込んだために引くに引けなくなり傷口を広げてしまうという例として使われています)。努力は大切ですが、努力したこと自体に安住しては停滞してしまいます。

人生に「もしも」はなく、「今」しかありません。未来を見据える想像力と、同じものを他人とは違った切り口で見る柔軟な思考がインスピレーションを生み出します。人間、経験しないとわからないことは山ほどありますが、逆に経験に縛られない「閃き」が文明の発展を支えてきたのも事実です。でも、と私は考えてしまいます。それで本当に「すべてよし」ということになるのだろうか。夢は夢であって、それを追いかけているときの方がずっと幸せだったのではなからうか、と。ところで、「汗」なしで100%の「閃き」だけというのは、思い付きだけで人生乗り切ろうという安易な態度、もっとたちが悪いのだろうか、たぶん。



かみづか けんいち ●大阪音楽大学教授、
付属音楽院登録講師、県立西宮高等学校
音楽科非常勤講師。明石フィルハー
モニー管弦楽団演奏委員、同管弦楽団
運営副本部長、同ジュニア・オーケスト
ラ常任トレーナー、西宮音楽協会会員

音楽の「1/f ゆらぎ」を求めて 夜な夜な空を見上げます

チェロ・教授 上塚 憲一

教員
リレー
エッセイ
Vol.13

私

の子ども、といってももう30歳になる息子のことだが……彼が3歳の頃に有名なハレー彗星が回帰。次第に地球へ近づくにつれにわが天文ファンが増え出した頃。ご多分にもれず私も少年時代に愛読していた「天文ガイド」なる雑誌を再び購入し始め、ようやく会話が成立し出した息子と「おはしさまを眺めたものである」。

数年後にも連続して大きな彗星が地球を訪れたものだから、息子の天文熱は上がることはあっても、下がることはなかった。彼とは車に望遠鏡を積んでふたりの合い言葉となっていた「砥峰(とのみね)高原」へよく観測(撮影)に通ったものである。最近でこそ映画「ノルウェイの森」の撮影地として有名になってしまった当地だが、90年代は人影もほとんどなく、訪れることに鹿や狐狸といった動物に必ず遭遇するという場所。「熊出没」の看板は、徹夜で観測をするふたりには正直相当怖かったし、道中車の前方で立ち止まり、こちらを睨みつける野生の鹿の神々しさに畏怖の念を抱いたことは今でも脳裏から離れない。

長じて息子が東京に住むようになってからは、天体観測に出ることもなくなり、望遠鏡は部屋のオブジェと化してしまっ

今回は
同期であり、音楽院
講師の先輩でもある
松田 昌憲先生
(声楽)をお願いします



な夜な空を見上げるのです。

が、最近またカメラを持ち出しては「危険なおじさん」よろしく「秘密の撮影地」を訪れるようになった。一人で行くのは、空を見上げながら思考の世界に入れるからである。難しい哲学をするのではなく(そんな頭脳はない)単に宇宙を想像することで人間や音楽に思いをはせるということであろうか。

本書「宇宙のゆらぎ・人生のフラクタル」が大好きだ。「宇宙と神と人間の存在」「ゆらぎとフラクタル」「音楽と宗教」に関しておもしろい仮説を科学技術評論家の天外伺朗氏と展開される内容である。自分が演奏で取り込みたい「ゆらぎ」の音楽イメージを膨らますのに最も適した時間となるのが、空を見上げている時とも言うおうか。音楽の1/f ゆらぎを求めて、変なおじさんは夜



砥峰高原で撮影した
美しい星空



◀現在、天文学を
生業とする息子に
譲った「思い出の
望遠鏡」